



傾向分析を踏まえ教材作成 ペン活用の新提案が続出

導入事例

小論文添削を完全データ化 教材研究にも活用

聖学院大学の入学前準備教育で計8回分の小論文&添削内容を完全データ化。生徒の文章力や思考過程の詳細把握に成功した。

FACTS

顧客：

埼玉県
聖学院大学

パートナー企業：

株式会社ワオネット
大日本印刷株式会社

用途：

- 1、小論文の添削指導
- 2、英語・数学テストの採点

背景

- 入学前準備教育で行っている小論文作成(約8回)において、受講生の思考過程をさらに詳しく把握したいと考えていた。
- 小論文および添削内容、評価をデータ化することができれば、教材作成や受講生の傾向分析に役立つであろうと考えていた。
- 入学前準備教育で行っている英語・数学のテスト採点をさらに効率よく処理できる方法があれば採用したいと考えていた。

アノト・ソリューションの概要

- ・ デジタルペン
- ・ 専用原稿用紙、専用解答用紙
- ・ パソコン
- ・ 記入内容を自動的に記録及び採点結果を瞬時にデジタルデータ化するソフトウェア

■ 使用方法

受講生は、毎回の講座で課せられたテーマについて、専用原稿用紙にデジタルペンで小論文を作成。個々の小論文を、学生スタッフがデジタルペンで添削および採点し、データ化する。

添削生原稿は受講生に返却。模範作例はプロジェクターで紹介。データ内容は講師が講座準備や傾向把握のために活用。その他、英語・数学のテスト採点にも利用。

ソリューションの成果

- 消しゴムと鉛筆ではなく、デジタルペンを利用することで、小論文完成に至る個々の受講生の思考過程の一端がつかめた。
- 小論文作例を完全データ化することで、コピー省略、ペーパーレス化が実現した。
- デジタルペンに対しては、長時間使用しても疲れにくい形状への改善を求める声の一部受講生から聞かれたものの、小論文および添削をデータ化して教材研究に活用する目的は概ね好意的に受け入れられ、評価された。
- 講師陣からの評価も高く、他教科でも入学前教育での積極活用を検討し始めた。
- 入学前準備教育に積極的に新しい試みを取り入れる大学として複数のマスコミに取り上げられ、認知度を高めた。
- 学生の講義ノートのデータ化という新しい試みも検討中。新しい学習方法を提案、採用していこうとする機運が高まっている。